

## 第 2 学 年 道 徳 科 学 習 指 導 案

2 年 2 組 指 導 者 中 川 穂

### 主 題 親 切 っ て 温 かい

#### 1 本主題で子どもが創出と受容、転移を行う各教科等の本質（見方・考え方）

温かい心で接すること

#### 2 本主題について

本学級の子どもたちは、友達の落とし物を拾ったり、怪我をした人を保健室に連れて行ったりするなど、様々な場面で自然と親切にする姿が見られる。このような子どもたちが、親切にすることについて、自分の経験や心情と照らし合わせながら考えていく。このことは、自分の内面を見つめ、自分のよさに気づき、よりよく生きようとする態度を育てることにつながっていくであろう。

本主題では、内容項目「親切、思いやり」を基にした教材「ぐみの木と小鳥」を使って、親切にする小鳥の心情を話し合う。その際、親切は、困っている相手の様子や心情を想像する温かい心によって生まれているということに気付くことができるようにしたい。さらに、小鳥が温かい心でりすに接したことについて考えたことを手がかりに、自分がこれまでに行った親切とその行為を生んだ温かい心を想起させることで、今まで自然と親切にしていた自分のよさを認識できるようにしたい。そうすることで、自信をもってより積極的に温かい心で親切にしようとする態度を育てることにつながると考えるからである。

そこで、以下のような支援を具体化し、本主題でめざす子どもの姿の実現を図る。

- 親切にすることが困難な場面に焦点化し、親切にした理由を考えるよう促す。そうすることで、困っている相手の様子や心情を想像し、親切を生む温かい心について考えることができるようにする。【創】
- 温かい心について話し合った後に、親切にした経験を問う。そうすることで、自分も困っている相手のために温かい心で接していることに気付くことができるようにする。【受】
- 振り返りの際、今後の生活に生かしたいことを考えるよう促す。そうすることで、自分のよさを基に、困っている人に、温かい心で接しようとするようにすることができるようにする。【転】

#### 3 本主題における評価の視点

多面的・多角的に考える姿	自分自身との関わりで考える姿
○温かい心で接した人物の心情について話し合っている。	○温かい心で接することについて、自分の経験や心情と照らし合わせながら考えている。

#### 教材のあらすじ

山の上のぐみの木に、一羽の小鳥がやってきてぐみの実を食べていました。ぐみの木は小鳥に、この頃姿を見せない友達のりすさんが心配であることを話しました。そこで小鳥は、ぐみの木の代わりにりすの様子を見てくることにしました。小鳥が行ってみると、りすは病気で寝込んでおり、小鳥はりすにぐみの実を渡しました。次の日も小鳥はりすに、ぐみの実を運びます。しかし、その次の日は嵐でした。ぐみの木は嵐が止んでから行った方がよいと話しますが、小鳥はじっと考え、力を振り絞って、りすにぐみの実を運んだのでした。りすは小鳥に「こんな嵐の中をありがとう。もうすぐ、元気になります。」と言いました。

4 本時案 【令和3年10月19日 13:35~14:20 2年2組教室】

(1) ねらい 温かい心で接した人物の心情や自分の経験を話し合うことをとおして、これからも困っている人に温かい心で接しようとする態度を育てる。

(2) 学習過程 ※一重下線は創出、二重下線は受容、破線は転移に対応する子どもの意識

学習活動・学習内容	子どもの意識	○教師の支援
1 小鳥の心情について話し合う。(25分) ・小鳥の親切 ・小鳥の温かい心	・家から出たくないほどの嵐の場面だね。 ・そんな嵐の中を、小鳥が飛んでいるよ。 ・ぐみの実をりすに運んでいるのだった。 <b>どうして小鳥は嵐の中ぐみの実を運んだのだろう</b> ・お話を読んでみよう。 Aりすのために親切で運んだのだね。 ・前の日にりすと約束していたことも理由の一つかもしれないね。 ・だったら嵐の後に届けるとよいのに、嵐の中届けることにしたのはどうしてだろう。 ・嵐の中届けることは危険だよ。 ・でも、大きな風の音でりすが怖がっていないのか心配になったのではないかな。 B病気なのに一人でいるりすを元気付けてあげたいと思ったのかもしれないよ。 Aりすを心配する温かい心から親切をしたのだね。 ・温かい心で親切にしていますてきだな。	○親切にすることが困難な場面に焦点化し、親切にした理由を考えるよう促す。そうすることで、困っている相手の様子や心情を想像し、親切を生む温かい心について考えることができるようにする。【創】 ○温かい心について話し合った後に、親切にした経験を問う。そうすることで、自分も困っている相手のために温かい心で接していることに気付くことができるようにする。【受】
2 親切にした経験について話し合う。(15分) ・親切をした経験 ・温かい心 ・自分のよさ	・泣いている人を見つけたとき、何か悲しいことがあるのではないかと思って話を聞いてあげたことがあるよ。 B泣いている人のことを心配するという温かい心が小鳥と同じだね。 A私も困っている友達のために、 <u>温かい心で親切にしていたのだね。</u>	○振り返りの際、今後の生活に生かしたいことを考えるよう促すことで、自分のよさを基に、困っている人に、温かい心で接しようとするようにする。【転】
3 学びを振り返る。(5分) ・これからの自分	・今日の授業で、温かい心で親切にしていたことに気付いたよ。 A今までよりも <u>もっと温かい心で、困っている人に親切にしていきたいな。</u>	

小鳥のように温かい心で親切をしたことがありますか。

(3) 板書計画

